

市民・事業所意識調査 (令和5年度実施)の結果について



令和6年度第1回
がん対策推進委員会
令和6年5月30日(木)

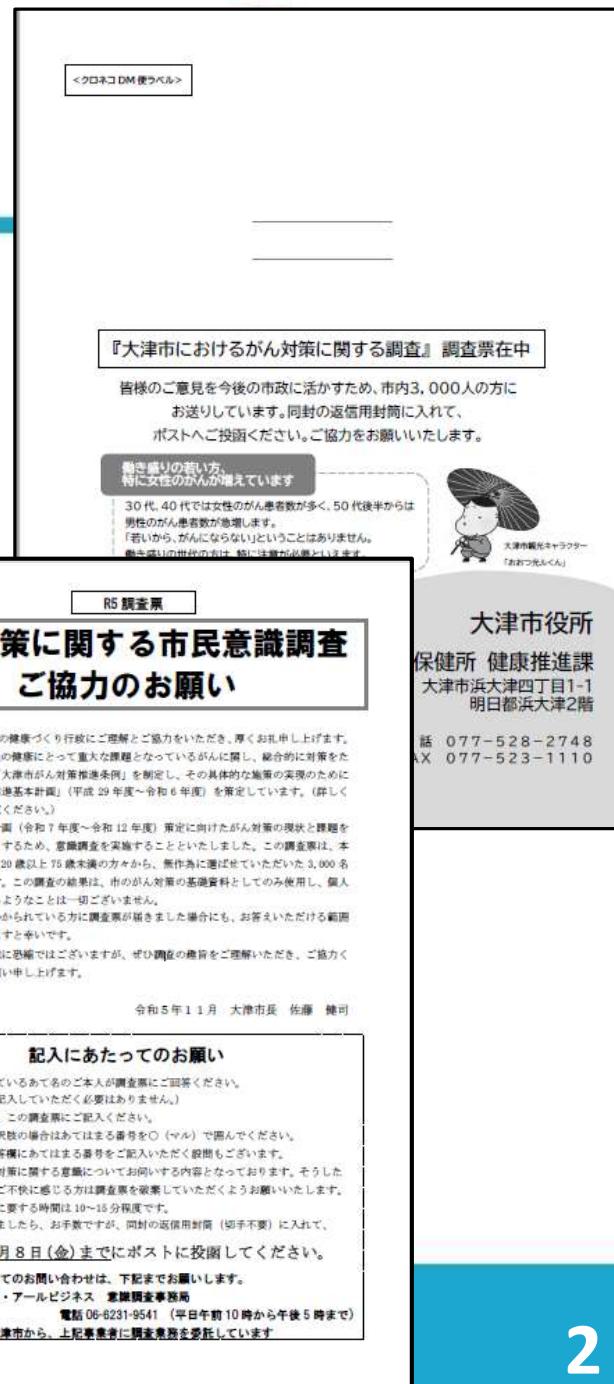
調査対象・規模

①市民意識調査

対象：市内在住の住民(20-74歳)から
3,000人を無作為抽出
調査期間：令和5年11月～12月
(郵送配布・回収)
有効回答数：1,005(有効回答率：33.5%)

②事業所意識調査

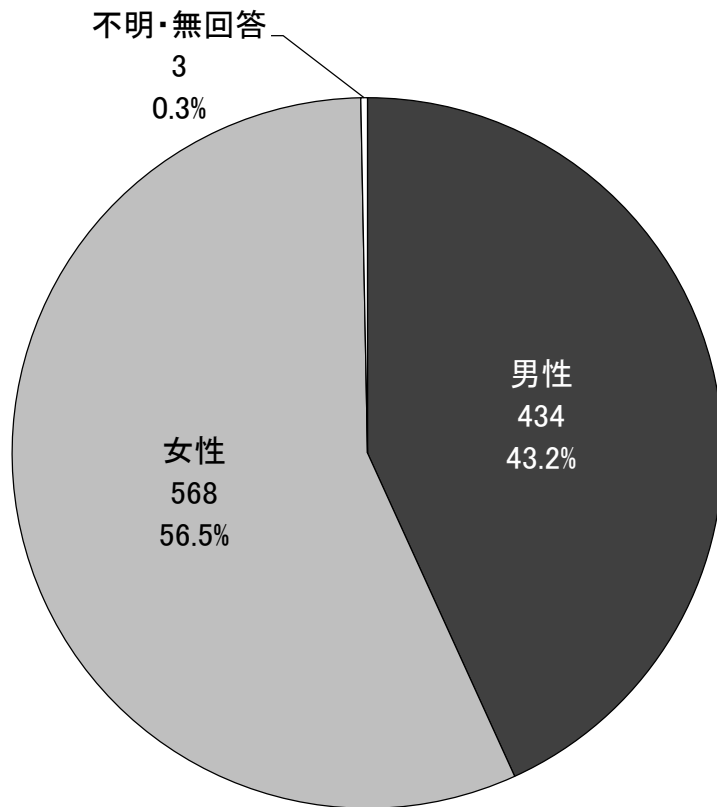
対象：大津市内に所在する事業所1,600件
調査期間：令和5年11月～12月
(郵送配布・回収)
有効回答数：512(有効回答率：32.0%)



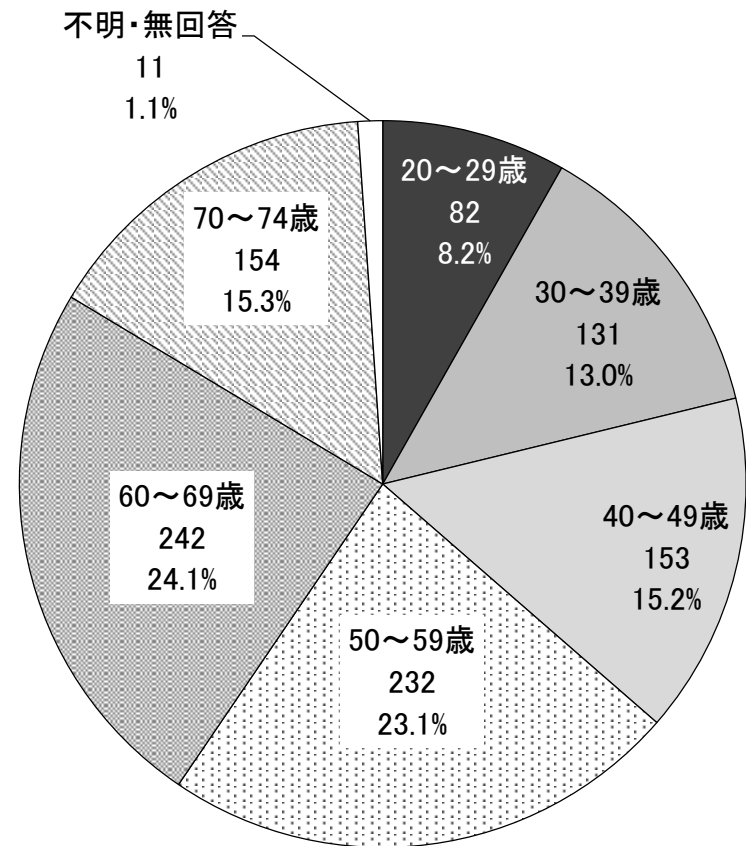
市民意識調査 結果①

n=1,005

【性別】

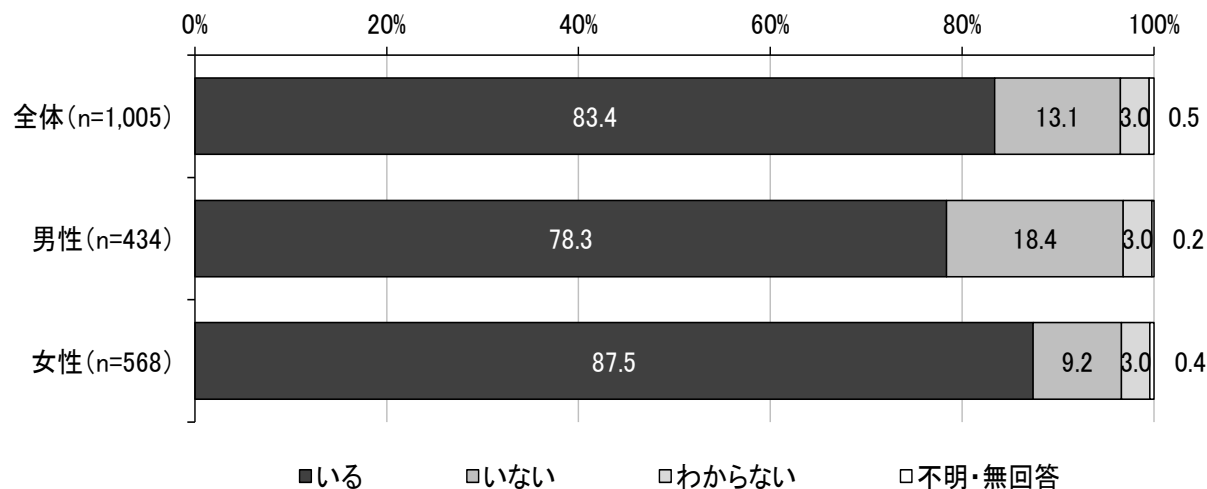


【年齢】



市民意識調査 結果②

問：あなた自身を含め、家族や親せき、親しい同僚など身近な人で、がんにかかった人はいいますか。



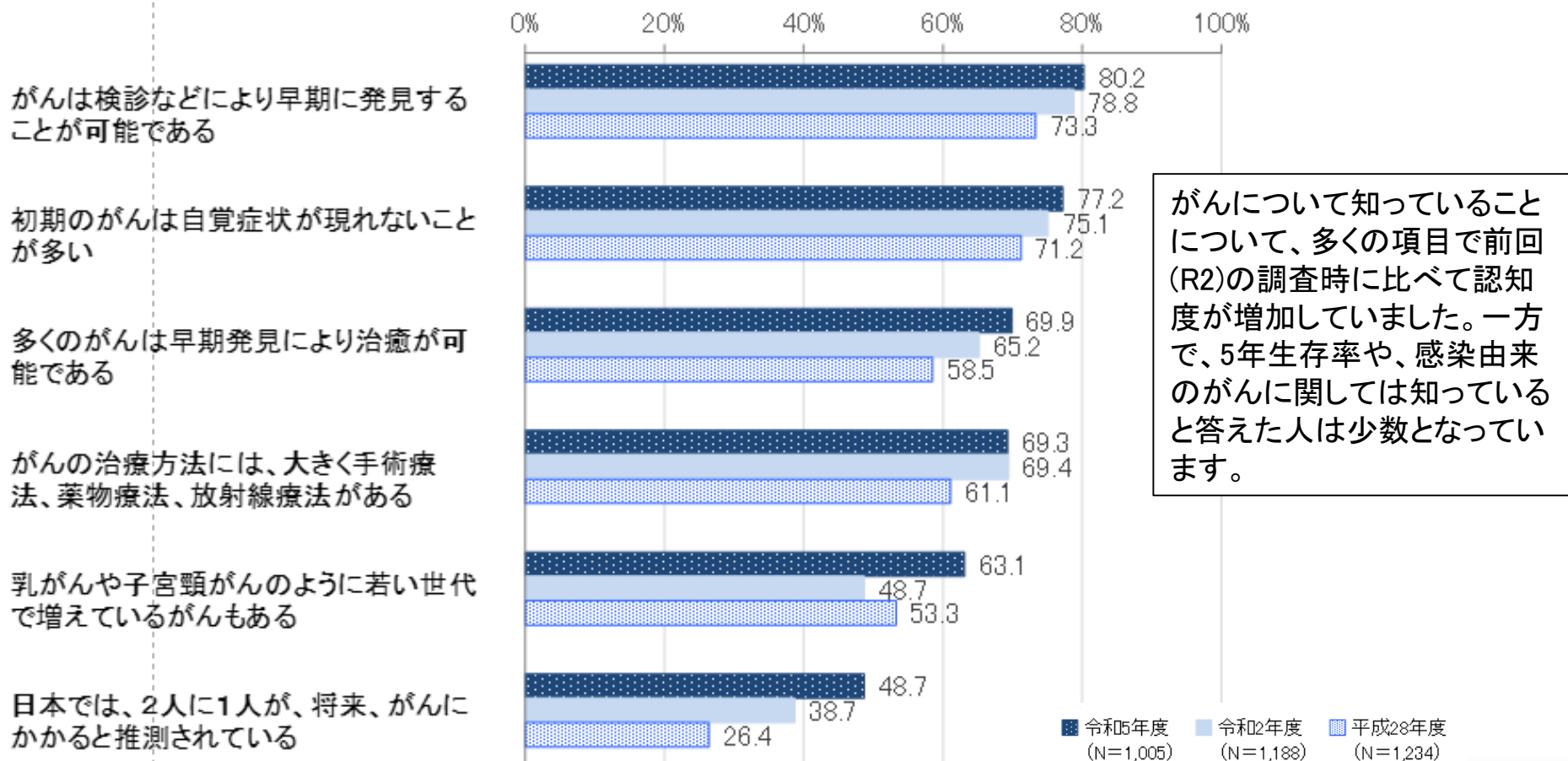
約83.4%の方が家族や親せきなど身近にがんにかかった人がいると回答しています。
また、回答者自身ががんにかかった方は、7.7%でした。

＜がんにかかった人との関係性＞※複数回答

親・きょうだい・子ども 48.6% その他の親せき 44.4% 友人・同僚 20.3%
 いない 13.1% 自分自身 7.7% 配偶者 6.8% わからない 3.0%
 その他 1.7% 不明・無回答 0.5%

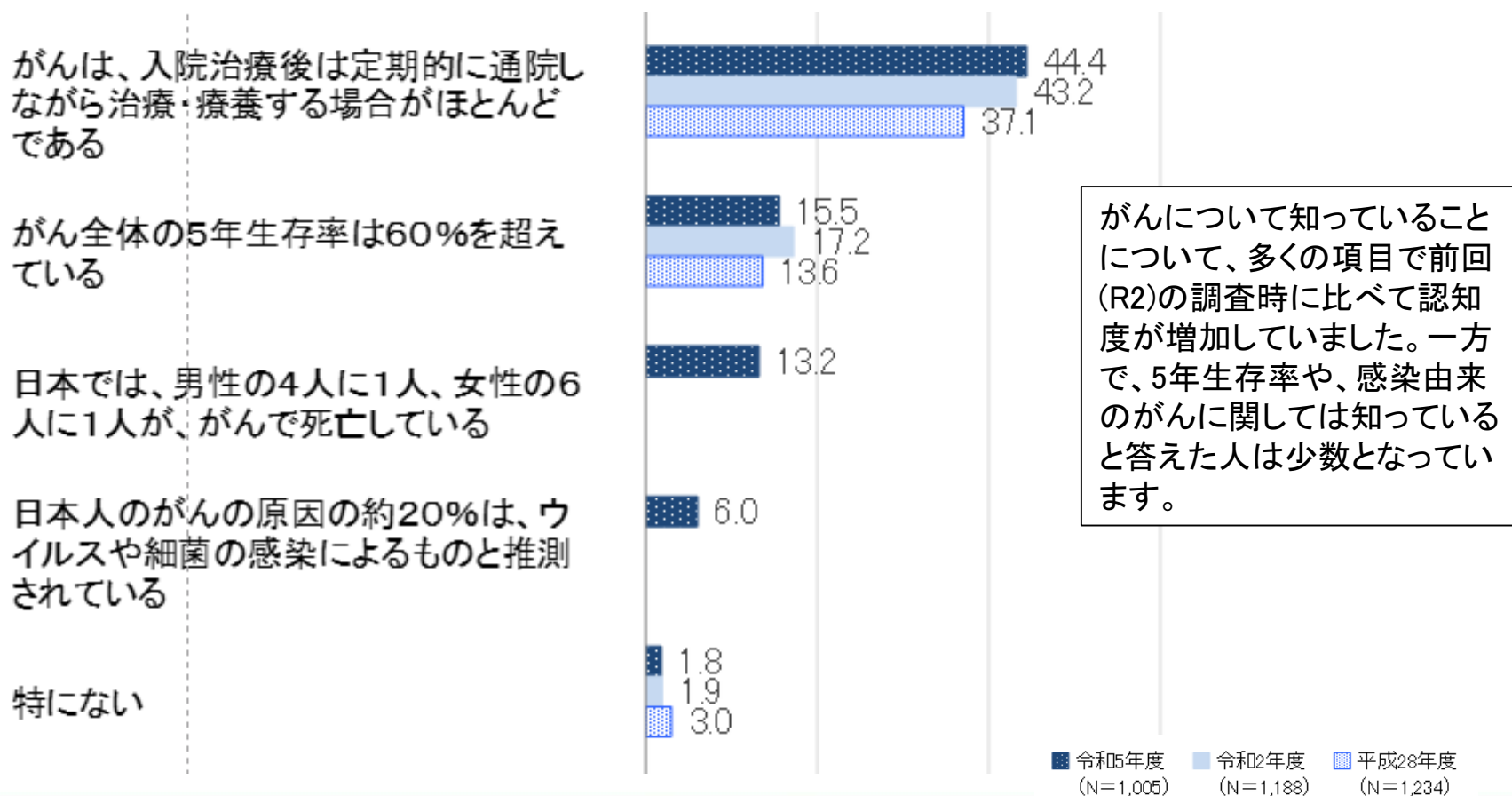
市民意識調査 結果③ー1

問：がんについてあなたが知っていることは何ですか。（上位回答）



市民意識調査 結果③ー2

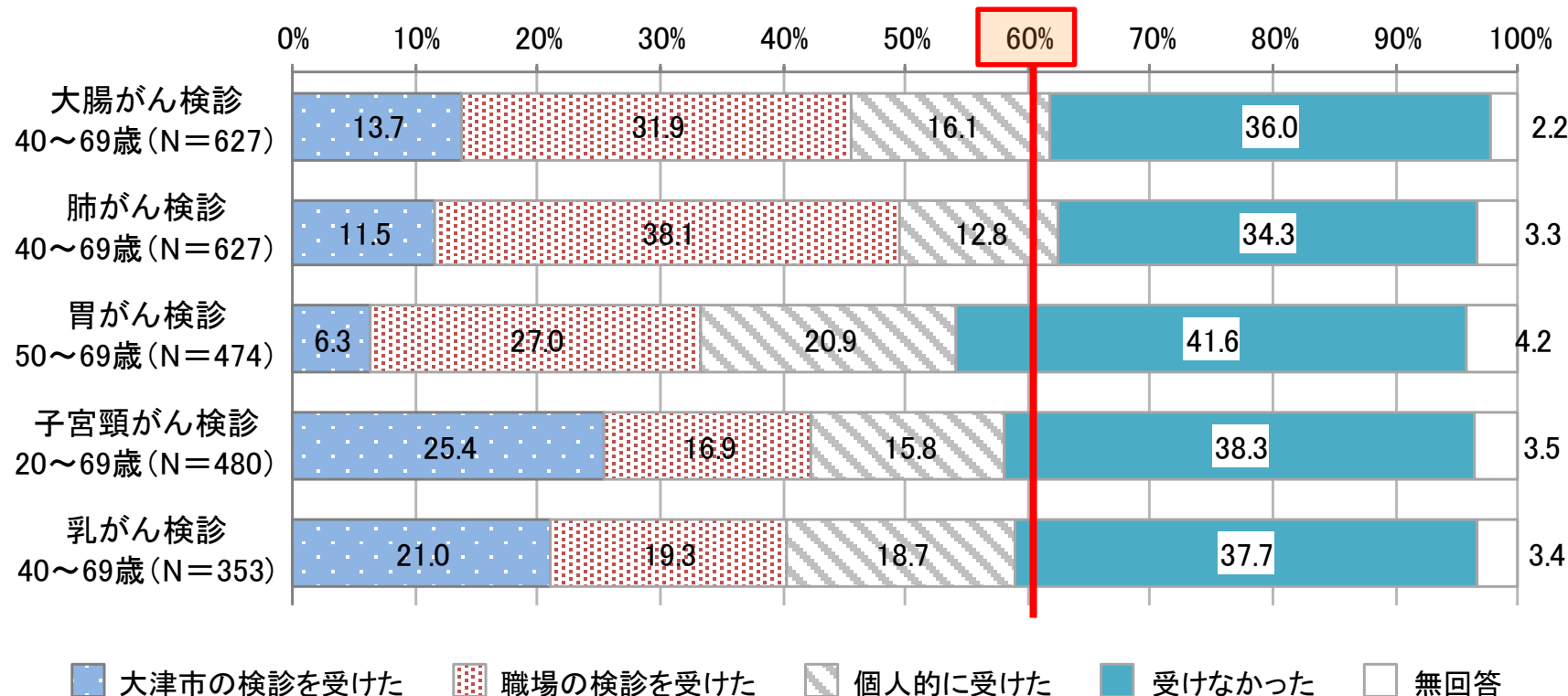
問：がんについてあなたが知っていることは何ですか。（下位回答）



市民意識調査 結果④

問：あなたは、がん検診を受けましたか。

＜特に受診が推奨されている年齢における受診状況＞

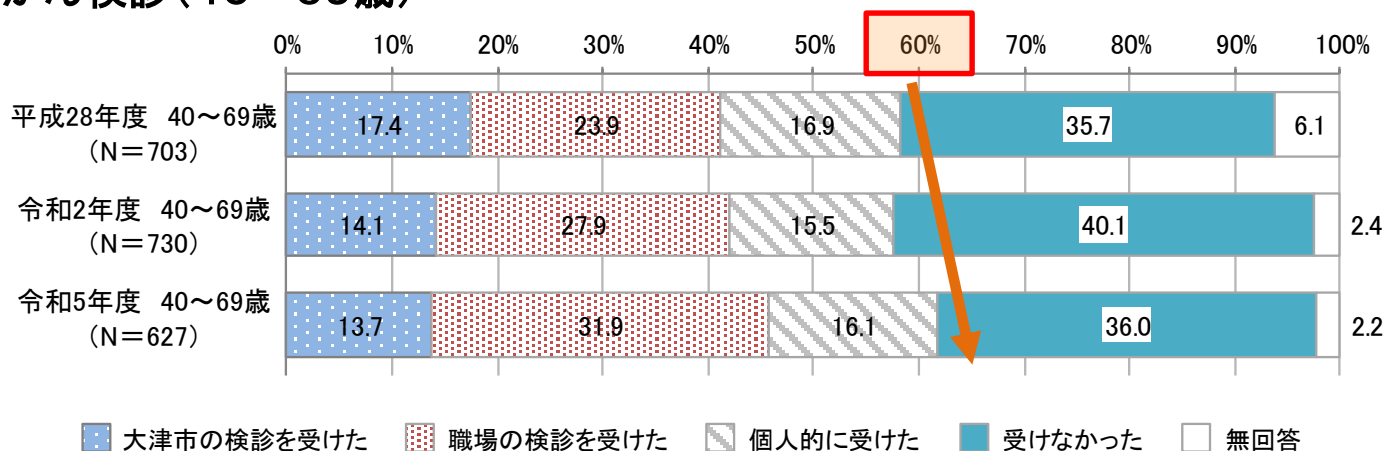


大腸がん検診、肺がん検診については、国の現計画における目標値(60%)を超える受診率となっています。

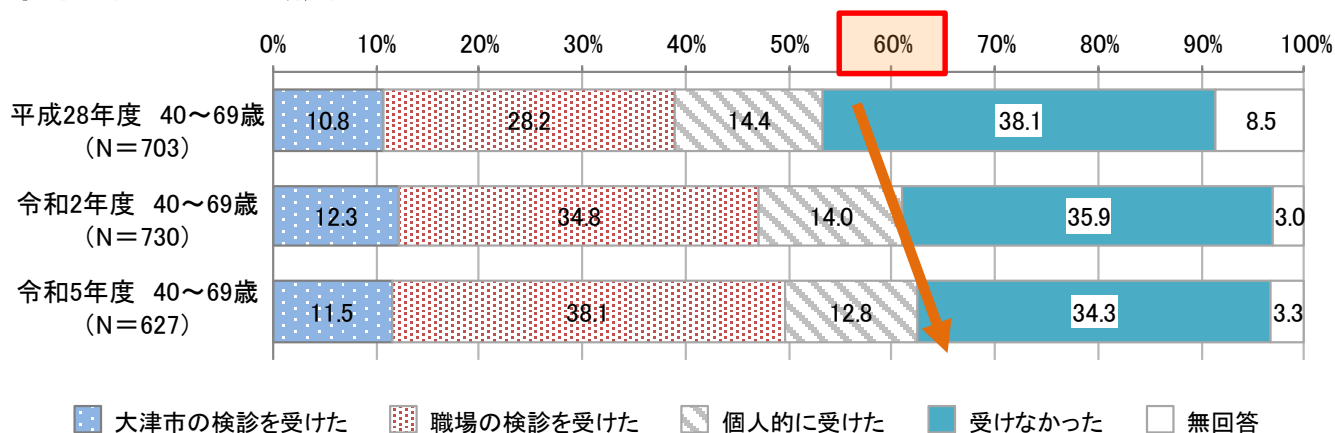
市民意識調査 結果⑤ー1

問：あなたは、がん検診を受けましたか。 ※過去調査との比較

①大腸がん検診(40～69歳)



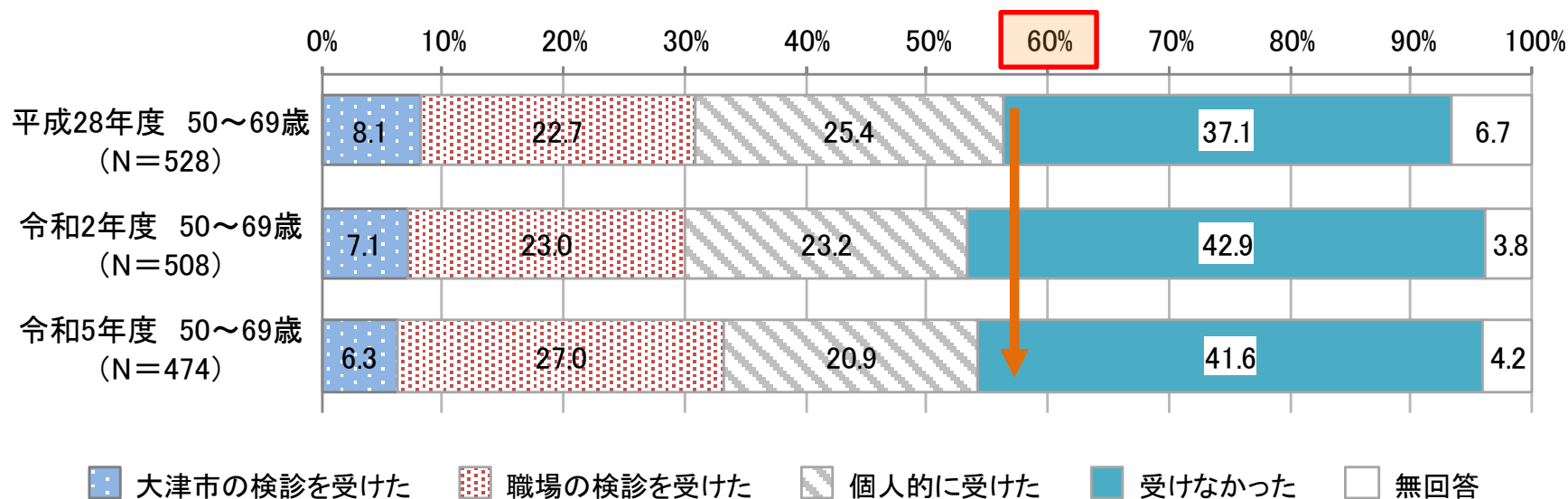
②肺がん検診(40～69歳)



市民意識調査 結果⑤ー2

問：あなたは、がん検診を受けましたか。 ※過去調査との比較

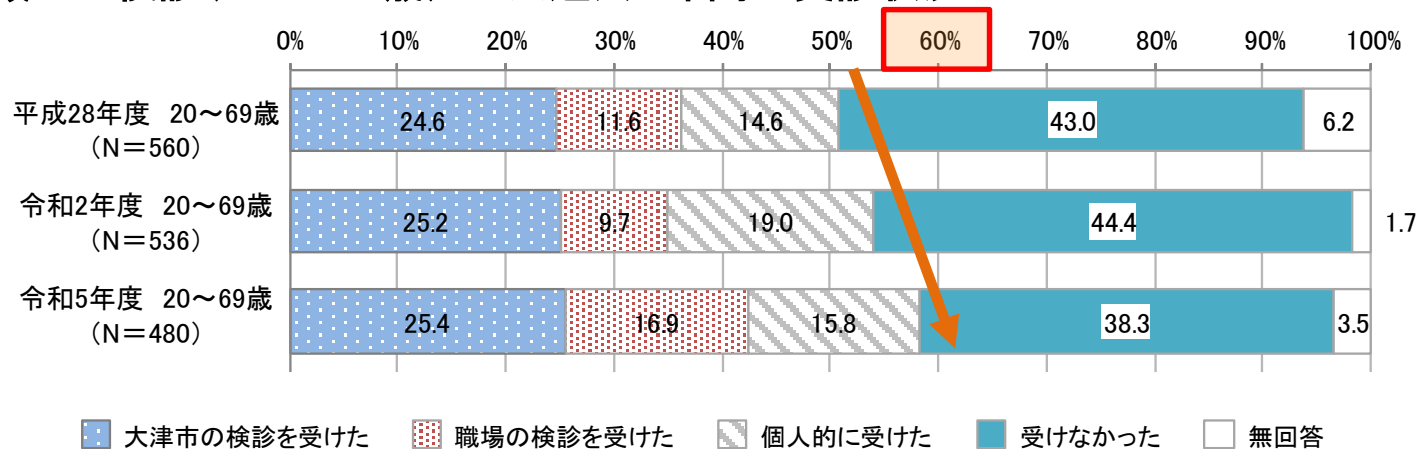
③胃がん検診(50～69歳) ※過去2年間の受診状況



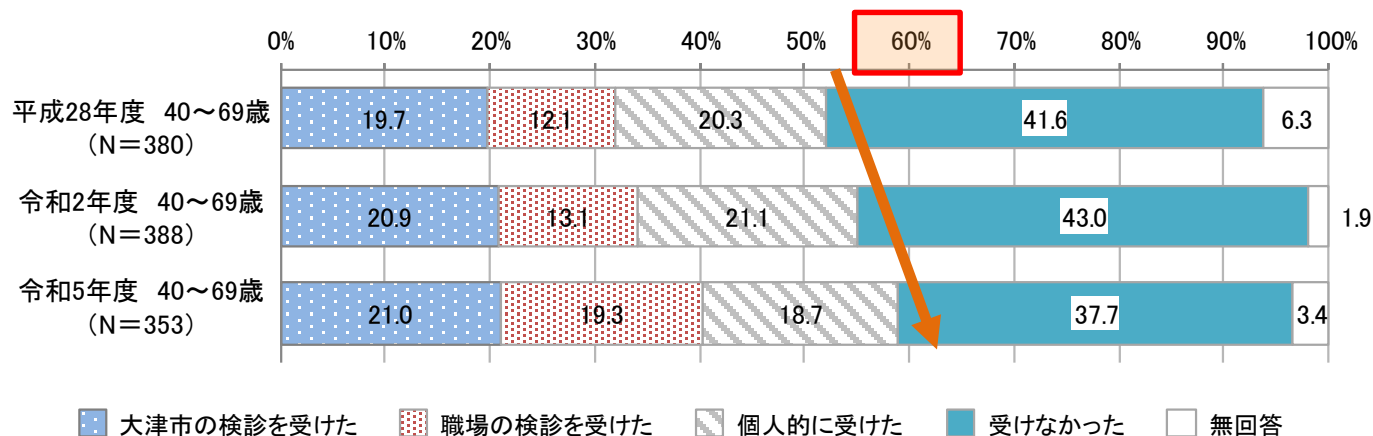
市民意識調査 結果⑤ー3

問：あなたは、がん検診を受けましたか。 ※過去調査との比較

④子宮頸がん検診(20～69歳) ※過去2年間の受診状況

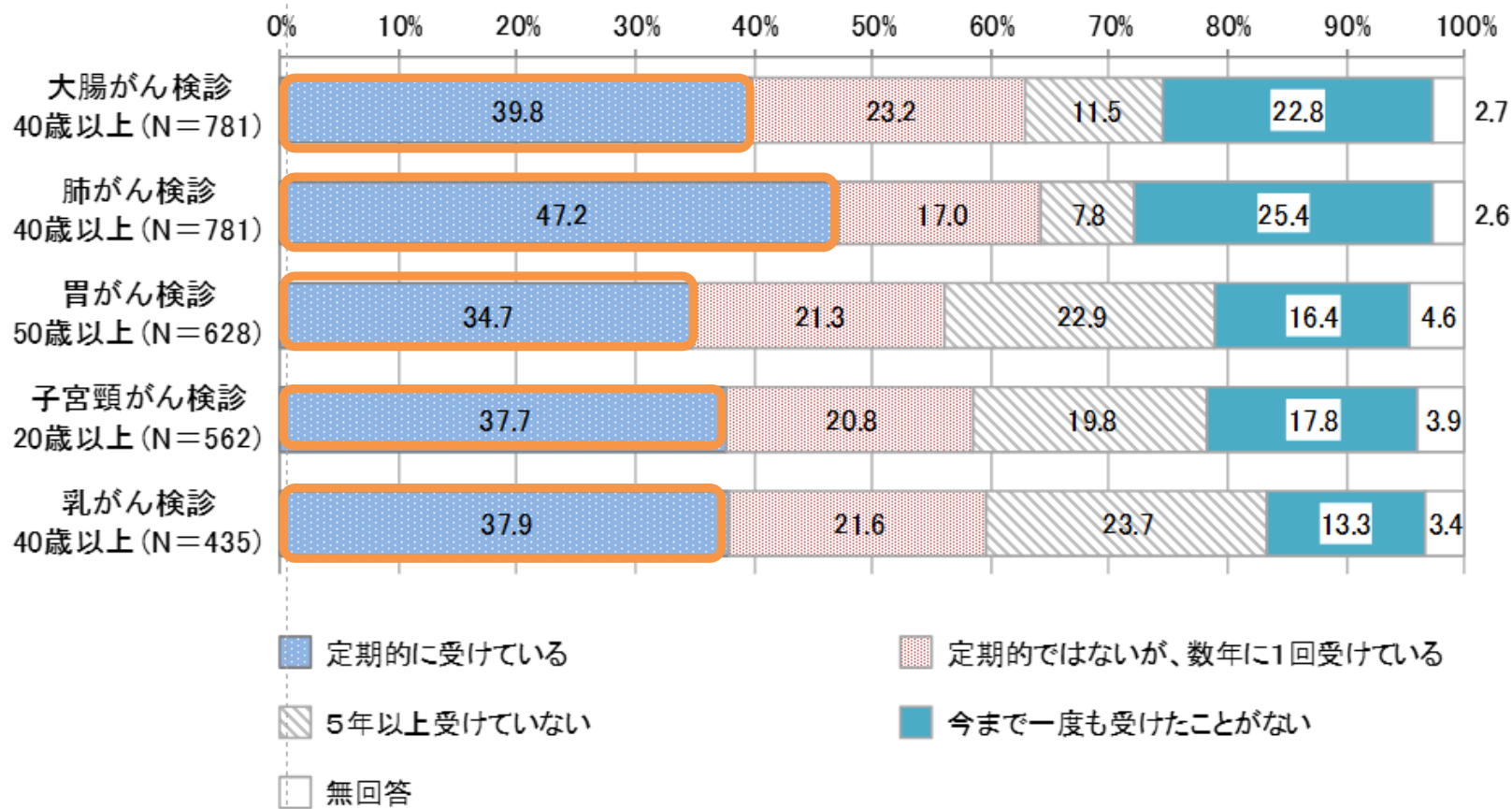


⑤乳がん検診(40～69歳) ※過去2年間の受診状況



市民意識調査 結果⑥

問：あなたはがん検診を定期的に受けていますか。



市民意識調査 結果⑦

問：がん検診を受けなかった理由はなんですか（複数回答可）

《回答：上位項目》

症状がなく、必要性を感じないから

職場健（検）診の内容にないから

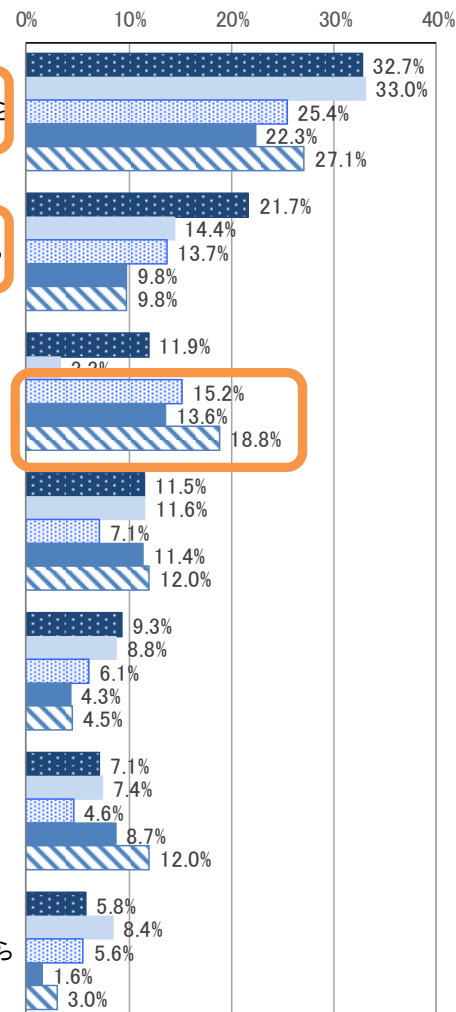
検査内容が苦痛だから

忙しくて時間がとれない
（仕事のため）

検診に費用がかかるから

忙しくて時間がとれない
（仕事以外で）

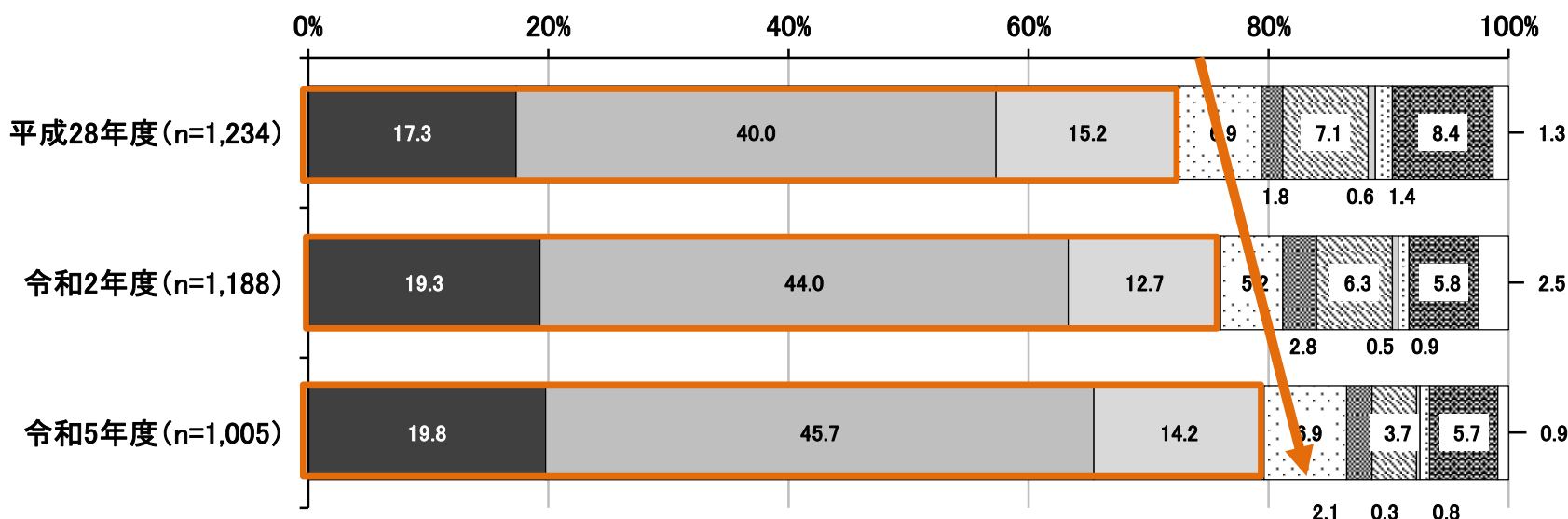
がん検診の個別の案内がないから



大腸がん検診 (N=226)
肺がん検診 (N=215)
胃がん検診 (N=197)
子宮頸がん検診 (N=184)
乳がん検診 (N=133)

市民意識調査 結果⑧

問：あなたご自身が、がんと診断され、治ることが難しいと告げられた場合、退院後の療養生活をどこで送りたいですか ※過去調査との比較

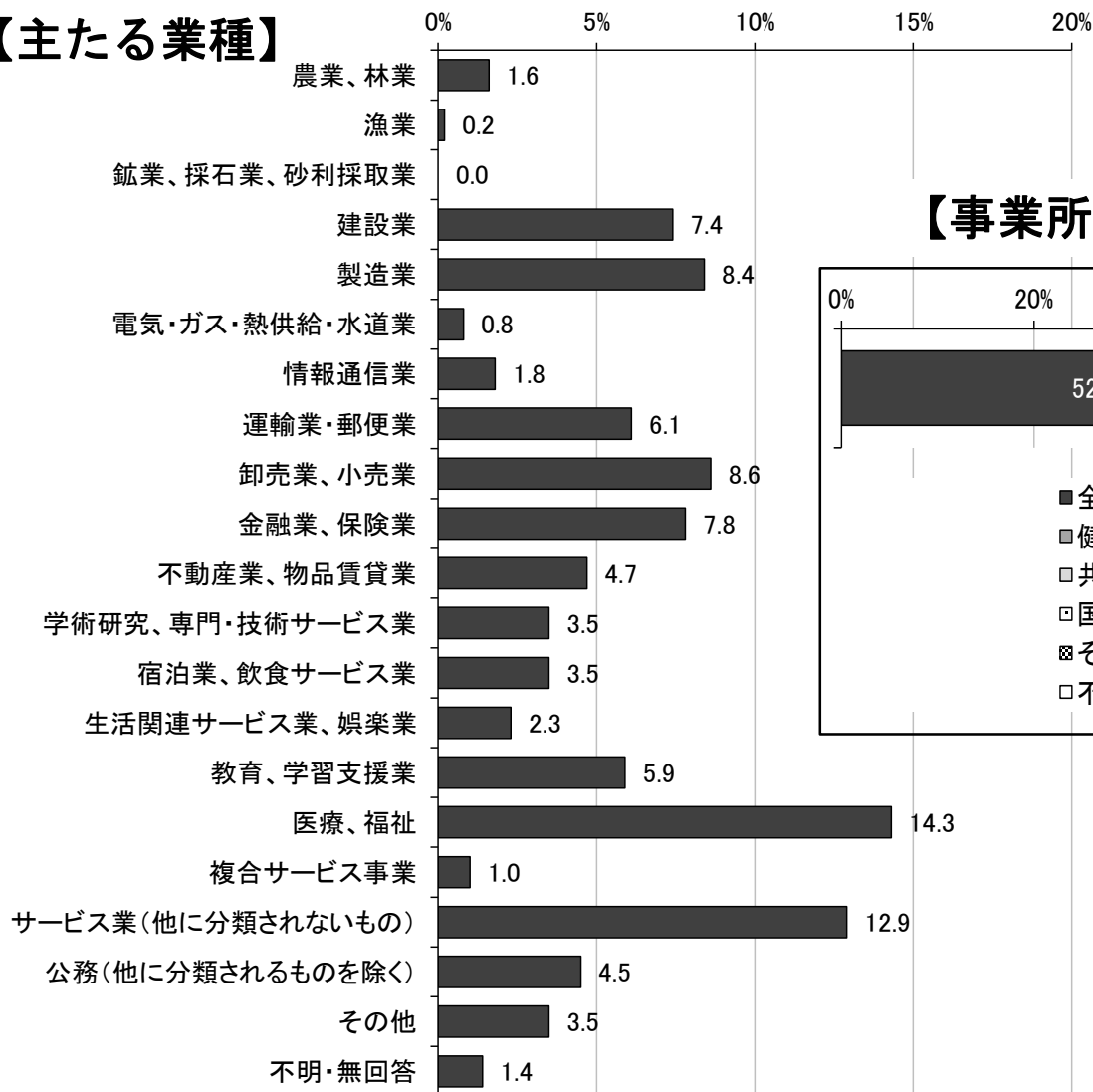


- 自宅で最後まで療養したい
- 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
- なるべく早く、緩和ケア病棟に入院したい
- なるべく早く、今まで通った(または現在入院中の)医療機関に入院したい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- 老人ホームなど介護施設に入所したい
- その他
- わからない
- 不明・無回答

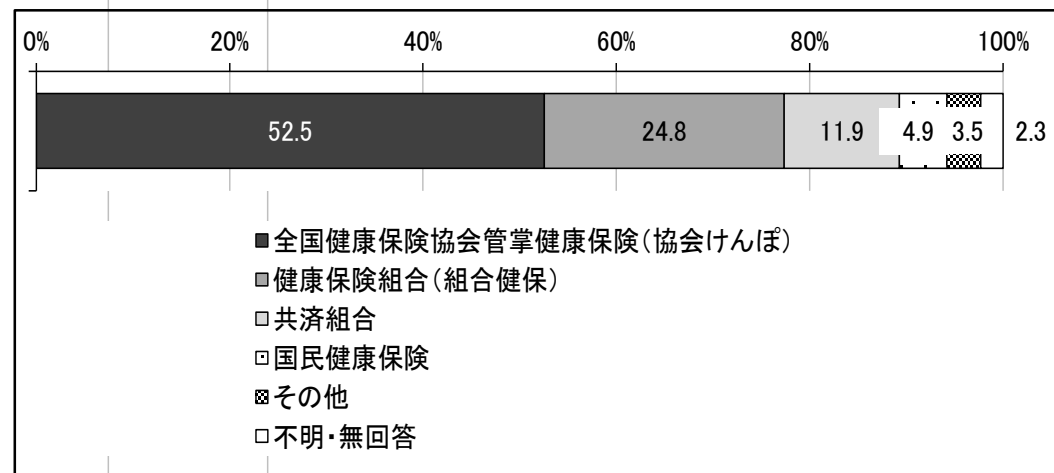
事業所意識調査 結果①

n=512

【主たる業種】



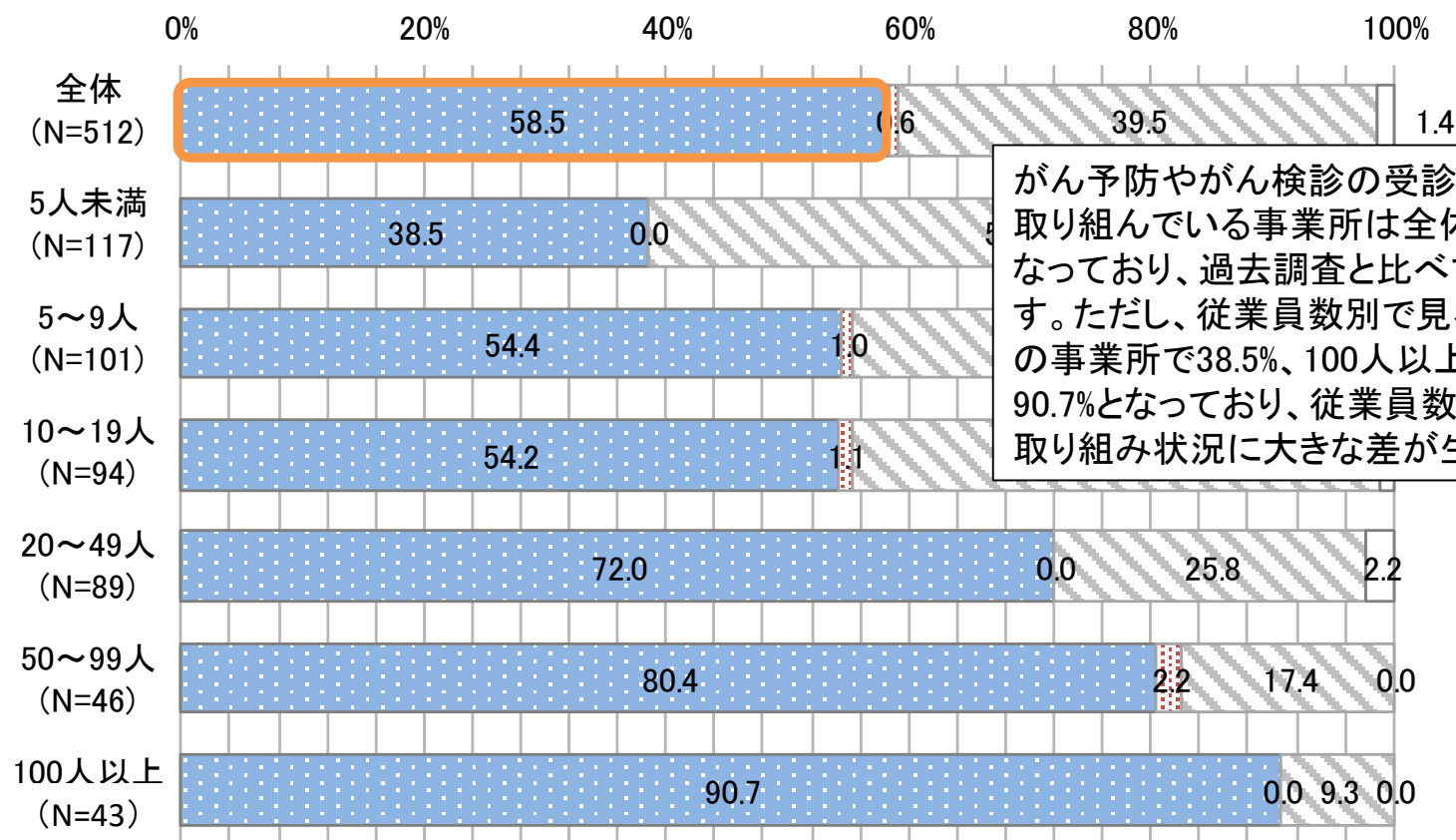
【事業所が加入する医療保険の種類】



事業所意識調査 結果②-1

問：がん予防やがん検診の受診促進のために、貴事業所で取り組んでいることがありますか

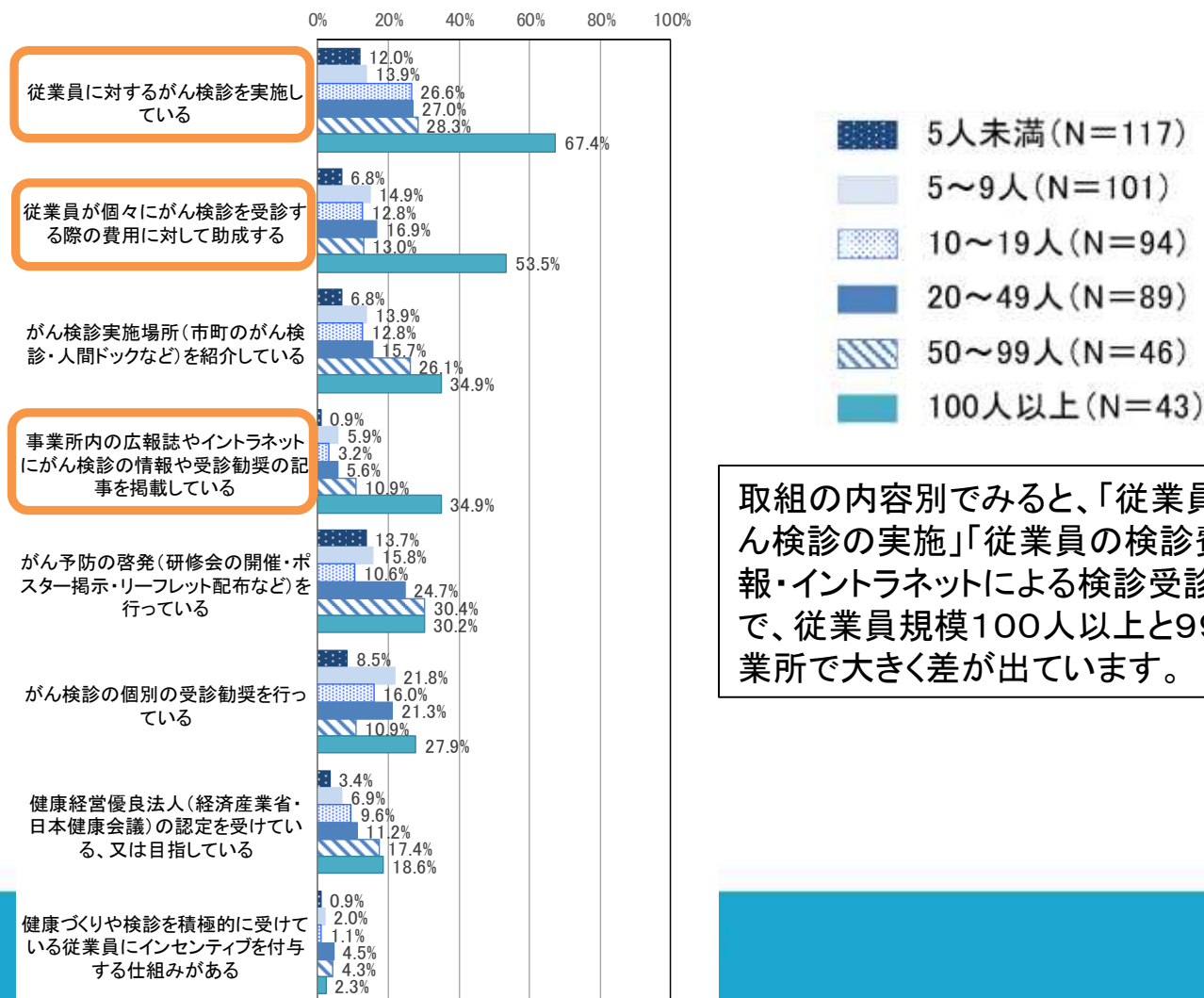
n=512



がん予防やがん検診の受診促進のために取り組んでいる事業所は全体の約6割となっており、過去調査と比べて増加しています。ただし、従業員数別で見ると、5人未満の事業所で38.5%、100人以上の事業所では90.7%となっており、従業員数の規模により取り組み状況に大きな差が生じています。

事業所意識調査 結果②-2

《がん予防やがん検診の受診促進のために、貴事業所で行っていることの内容》

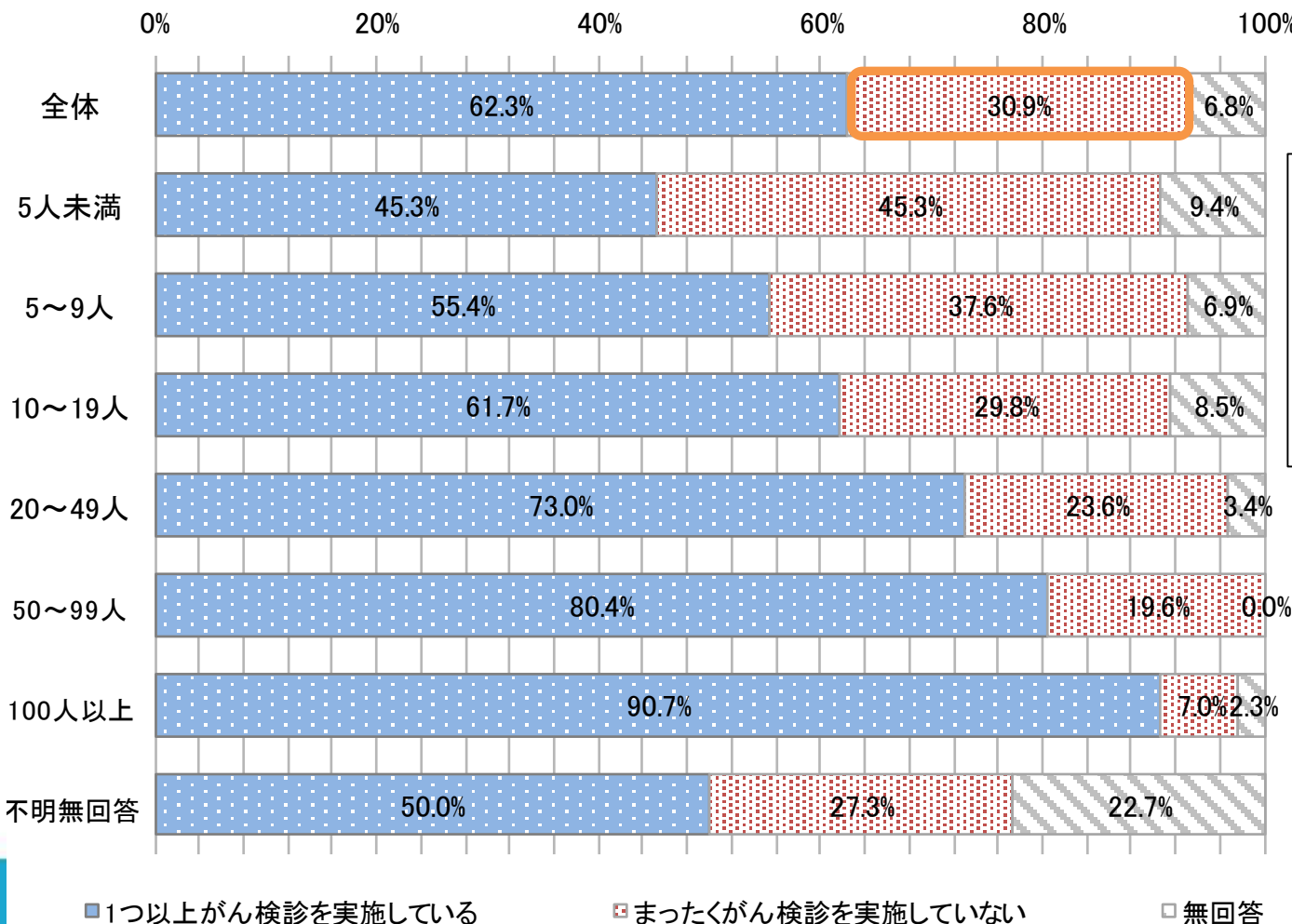


取組の内容別でみると、「従業員に対するがん検診の実施」「従業員の検診費用助成」「広報・イントラネットによる検診受診勧奨」の項目で、従業員規模100人以上と99人以下の事業所で大きく差が出ています。

事業所意識調査 結果③ー1

n=512

<<事業所規模別にみるがん検診の実施状況>>



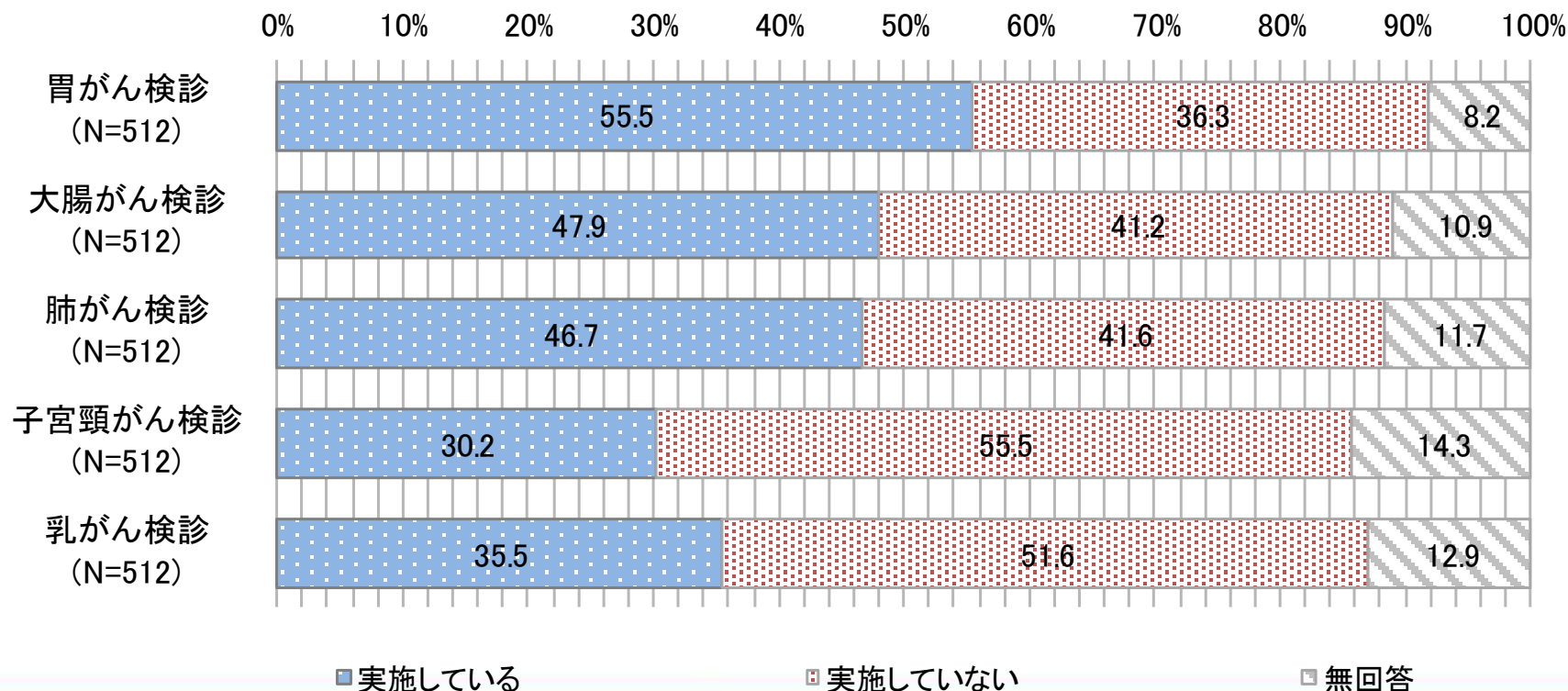
がん検診の実施状況について、まったく検診を実施していない事業所が約3割となっており、計画策定時と比べてやや増加しました。従業員数の少ない事業所で実施していない割合が高くなっています。

事業所意識調査 結果③ー2

《事業所における各種がん検診の実施状況》

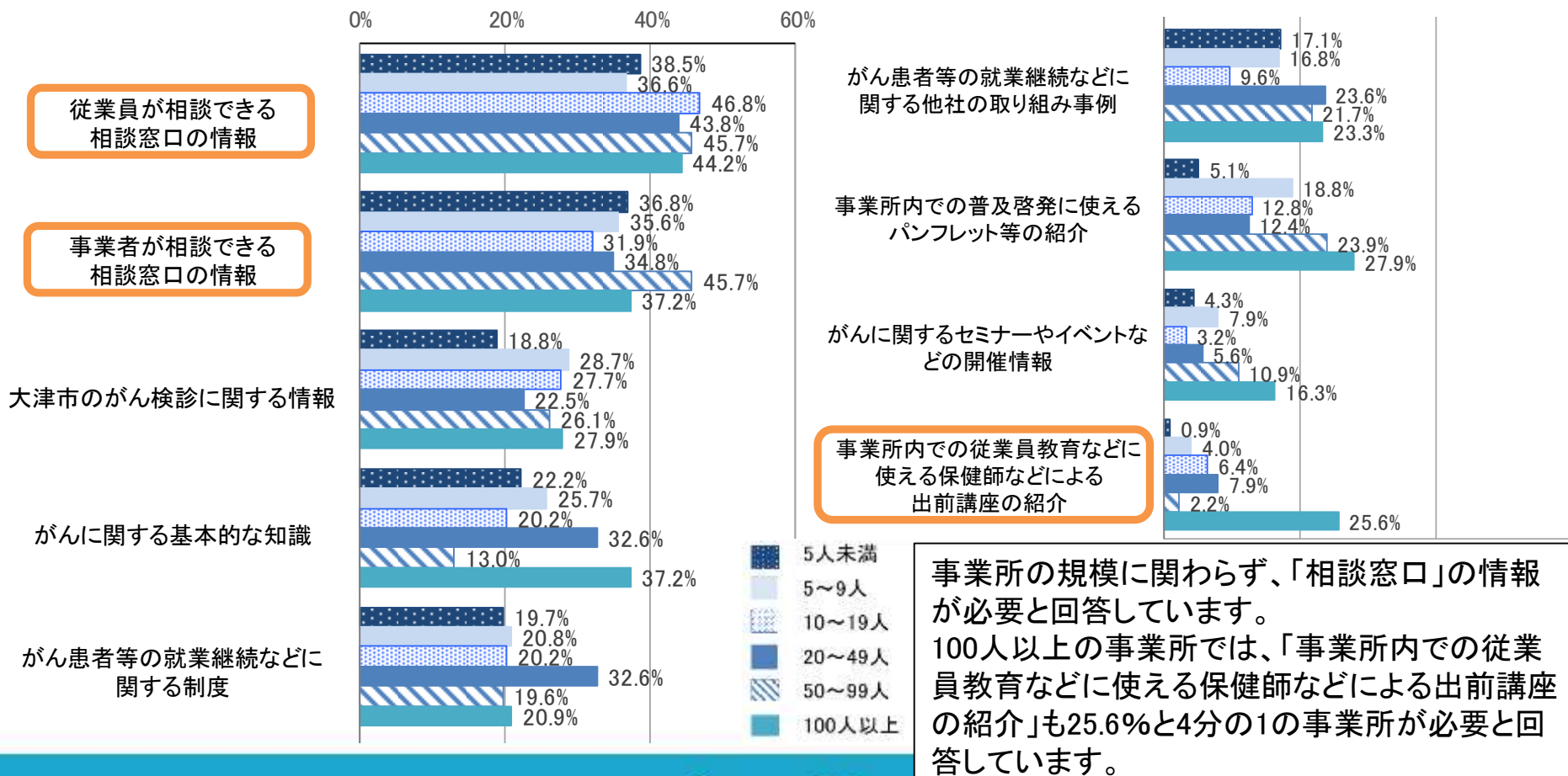
大津市に拠点を置く事業所の各種がん検診の実施状況は胃がん検診が55.5%で最も高く、大腸がん検診、肺がん検診が40%台後半で続いています。子宮頸がん検診、乳がん検診の実施率は30%台に留まっています。

令和2年と比較すると、胃がん検診の実施率が増加しています。その他のがん検診の実施率はあまり変化はありません。



事業所意識調査 結果④

「がんの予防や早期発見、がんにかかった従業員の仕事と治療の両立を実現するために、大津市から事業所に対して、どのような情報提供があれば良いと思いますか」 ※複数回答



事業所の規模に関わらず、「相談窓口」の情報が必要と回答しています。
100人以上の事業所では、「事業所内での従業員教育などに使える保健師などによる出前講座の紹介」も25.6%と4分の1の事業所が必要と回答しています。